

東海大学 がん看護・緩和ケア研究会

7月の事例

「家に帰りたい…」患者は最期の日々を家で過ごしたいと望んだ。

残された時間をより良く過ごしてほしい。

看護師は患者の希望を妻に告げた。

しかし妻は転院も退院も拒み、やがて看護師と距離を置くようになっていった。

間もなく患者は旅立ってしまう。

どうすればよかったのか、モヤモヤが残る看護師たち。

**がん看護に関するモデルを用いて、
死にゆく患者へのより良い看護について話し合います。**

- 開催日時：2013年7月27日（土）13:00～16:00
- 場所：東海大学伊勢原キャンパス 1号館7階 7D01教室
- アクセス：小田急線『伊勢原駅』下車
徒歩20分またはバス10分(東海大学病院下車)
- お問い合わせ：tokai.gankango@gmail.com
- 資料代として200円をご準備ください。
- HPアドレス：<http://gankango.ihs.u-tokai.ac.jp/>